

九年度

一金四拾万八千七百六拾五円九拾四銭

定額常費ヨリ額外
常費ハ流用スル高
額外常費ノ内ニテ
甲乙流用スル高

十年度

一金四万九千四百八拾七円三拾九銭六厘

定額常費ヨリ額外
常費ハ流用スル高

一金壹万六千七百六拾八円九拾三銭九厘

額外常費ノ内ニテ
甲乙流用スル高

部議事實止ムヲ得サルモ、ト認メ、精算局ハ照會ノ慶
不都合無之趣ニ付稟候、通聽許然ルバシト指令按
ヲ付シ上陳ス

第五 海軍省之部

第四號

明治三十四年六月廿一日
海軍省
第四號

○航海増費、稟候

海軍卿稟申ニ曰、當省經費中艦船航海費ニ於ル殊ニ欠
耗ヲ生シ即今内外、航海費支辨差闕、折柄今四代
理公使花房義賢朝鮮國ハ派遣セシメラル、ニ由リ
乗用ノ船艦發航セヨトノ命アリ因テ鳳翔高雄、貳
艘ヲ準備セリ然ルニ往復凡六ヶ月間トシ航海費概
算金壹万九千五百円余ナリ按スルニ該費ノ如キ素
ヨリ定額常費ニ於テ充用スルコト能ハサルニ據リ前
顯ノ金額別途下附アリタシト

部議審按ノ末大藏省ハ諮問ノ慶同省意見ニ曰ク本件
需用ノ金額内譯掲載無之調査差支ニ由リ檢査局長
ヨリ該省ハ直ニ照會即今回答ヲ得タリ然ルニ發艦
前上請セシ金額ニ比スルハ金五千円餘増加スルト

雖モ元ヨリ平常ノ航海トモ異リ且其實費ナルヘキ
ニ付該省内譯書ノ通り允裁ノ上金貳万五千五百拾四
圓拾六錢三厘別途下付ノ外有之間敷尤該金額中十
一年度ニ属スル分アレバ既ニ閉鎖ノ期ヲ經過スル
ニ由リ實際其區分モ容易ナラスト察スルニ由リ總
テ十二年度經費ノ増費トシ而シテ俸給ノ如キ定額
常費ノ増費スヘキ金筋モ有之ニ付其費途區分ノ上
當省ヘ申牒スヘシト指令アリタシト依テ指令按ヲ
付シ上陳ス

第二九號 三月十四日受領
三月十三日發可

○生徒外國航海中食卓料ノ稟申
海軍卿稟申ニ曰生徒乗艦食卓料少尉補同様一日金貳
拾五錢宛支給ノ儀客歲九月中稟請許可ヲ得タリ就

テハ外國航海ノ節モ少尉補同様四分一増加支給セ
ントス許可ノ上ハ海軍概則並俸給制第十一條ノ左
ノ但書追加セシト欲スト
一本條略之

但本文准士官以下食卓料一日金貳拾五錢支給
ノ者ニ限り外國航海中四分一増加候事

部議異議ナク稟申ノ通聽許然ル可シト指令按ヲ付シ
上陳ス

第六六號 三月十四日受領
三月十三日發可

○海軍概則並俸給制中改正ノ稟申
海軍卿稟申ニ曰海軍概則並俸給制第二十條ニ乗艦文
武官負外國出張加俸ノ義ヲ大略掲ケタル而已ニシ
テ経緯度及支給方法等明記ナキヨリ往々不都合少